「皇国史観」はどう作られたか

文部省の思想統制政策と歴史家の責任

文部科学省による 2023 年度の中学校教科書の検定で、令和書籍の歴史教科書が合格したことが波紋を広げています。明治天皇の玄孫だという作家が執筆したこの教科書は、日本軍性奴隷制に関して歴史研究の成果に基づかない記載があるだけでなく、神武から始まる「皇位継承図」が掲載され、戦時中の「皇国史観」を彷彿とさせるからです。

そもそも「皇国史観」とよばれる物語は、誰が、どのような目的で書いたものなのでしょうか? 講師の長谷川亮一さんは、「皇国史観」の成り立ちについて詳細に追い、当時の文部省が「皇国史観」をつくりあげ、「国民」に膾炙するために担った役割を明らかしました。文部省に「協力」した歴史家も当然おり、それらの歴史家の「系列」は、現在の教科書検定制度と無縁ではありません。歴史と教育を戦争遂行のために利用した文部省、それに連なった歴史家たちの過去を検証し、今を考えます。どうぞふるってご参加ください。

日 時: 2024年11月3日(日) 14:00~16:30

お 話: 長谷川 亮一さん

会 場: wam オープンスペース(定員40名/予約·先着順)

参加費: 1000円 (wam 会員。非会員は 1200 円)

*オンラインは翌日夕方以降のオンデマンド配信 (2週間) になります。 お申し込みは左記二次元コードから Google フォームで。wam 事務局にメールを くだされば URL をお送りします。会場参加のみ電話での申し込みも可能です。



【ゲスト紹介】はせがわ・りょういち

1977 年千葉県生まれ。立教大学日本学研究所研究員。千葉大学大学院社会文化科学研究科(日本研究専攻)修了、博士(文学)。近現代日本で信奉されたオカルト的な偽古代史書(「偽史」)への関心から出発し、日本近現代史を軸として、虚偽の歴史認識がいかにして形成され受容されたか、ということをメインテーマとしている。

著書に『「皇国史観」という問題――十五年戦争期における文部省の修史事業と思想統制政策』(白澤社、2008年)、『地図から消えた島々――幻の日本領と南洋探検家たち』(吉川弘文館 2011年)、『教育勅語の戦後』(白澤社、2018年)。学術雑誌から一般誌まで、幅広い媒体で論考を発表している。

主催:アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」(wam) 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 AVACO ビル 2F 〒169-0051 t 03-3202-4633 f 03-3202-4634 wam@wam-peace.org

wam セミナー 天皇制を考える

wam は、「女性国際戦犯法廷」(2000年、東京)から20年の節目にあたって、2020年9月から天皇由来の「祝日」のうち4日間を「祝わない」ために開館することにしました。天皇の戦争責任・植民地支配責任を問い、天皇制を維持してきた責任を見つめなおすために、タブーなく天皇制について議論できる「場」をつくっていきます。

■これまでのセミナー

第1回 2020年11月3日

テーマ: 叙勲・お言葉・思いやり…天皇と「国民」を

結ぶもの―「明治節」に考える―

お 話:池田浩士さん(京都大学元教員)

第2回 2021年2月11日

テーマ: 桜の国の悲しみ、菊の国への抗い―「紀元節」

に伝えておきたいこと

お 話:石川逸子さん(詩人)

第3回 2021年2月23日

テーマ:「歌会始」が強化する天皇制一序列化される

文芸・文化

お 話:内野光子さん(歌人)

第4回 2021年4月29日

テーマ: 「昭和の日」に記憶する天皇の戦争責任~近

年の研究成果から学ぶ

お 話:山田朗さん (明治大学平和教育登戸研究所資料館

館長)

第5回 2021年11月3日

テーマ:近代天皇と家族の表象

お 話:北原恵さん(大阪大学元教員)

第6回 2022年2月11日

テーマ:近代天皇制がつくってきた差別―水平社宣

言から 100 年を機に考える

お 話:黒川みどりさん(静岡大学教員)

第7回 2022年4月29日

テーマ:天皇と戸籍

お 話:遠藤正敬さん(早稲田大学台湾研究所非常勤次席

研究員)

第8回 2022年11月3日

テーマ:撃ちてし止まむ!

お 話:池田浩士さん(京都大学元教員)

第9回 2023年2月11日

テーマ:天皇制と仏教

お 話:源淳子さん(仏教・ジェンダー研究)

第10回 2023年4月29日

テーマ: 植民地責任から問う 靖国神社、合祀の罪(準

備編)

映画上映:『あんにょん・サヨナラ』(監督:金兌鎰、共

同監督:加藤久美子/2005年/107分)

アフタートーク:南相九さん(東北アジア歴史財団研究

政策室長)

第11回 2023年5月25日

テーマ: 植民地責任から問う 靖国神社、合祀の罪 お 話: 李熙子さん (太平洋戦争被害者補償推進協議会代

表)

第12回 2023年11月3日

テーマ:日本の近現代史からみる 天皇制と勲章

お 話:栗原俊雄さん(毎日新聞専門記者)

第13回 2024年2月11日

テーマ: 「国民」が支える象徴天皇制一なぜ天皇制に

終止符が打てないのか

お 話:伊藤晃さん(千葉工業大学元教員)

第14回 2024年4月29日

テーマ:女のからだと天皇制―堕胎罪と「不良な子

孫」の出生防止

お 話:大橋由香子さん(フリーライター・編集者)

会員になりませんか?

●友の会年会費:3,000円 ●維持会員年会費:10,000円

会員にはニュースレター(年3回)のほかイベント案内などを逐次おしらせします。 維持会員は入館料無料。各種セミナーや刊行物の割引もあります。

> 郵便振替口座番号:00110-2-579814 口座名称:「女たちの戦争と平和人権基金」係



女たちの戦争と平和資料館

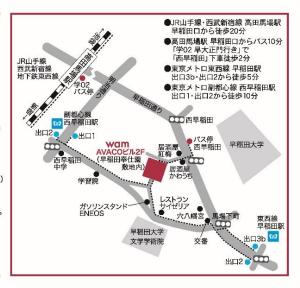
women's active museum on war and peace

開館時間:金・土・日・月 13:00~18:00 2月11日、2月23日、4月29日、11月3日は 「祝わない」ため開館

休館日:火・水・木・祝日(天皇制由来の上記4日を除く)

※時間外の団体来館はご相談ください。
※展示入れ替え期間と年末年始は休館となります。

入館料:18歳以上 500円 18歳未満 300円 小学生以下 無料 ※障害のある方の付き添いは無料です。



東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F 〒169-0051 T:03-3202-4633 F:03-3202-4634 E:wam@wam-peace.org URL:https://wam-peace.org Twitter:@wam_peace